



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 三信電気株式会社
 コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松永 光正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 西尾 圭司 TEL 03-3453-5111
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 96,369 | 39.6 | 1,182 | 91.3 | 1,218 | 90.4 | 775 | 128.6 |
| 25年3月期第2四半期 | 69,008 | △12.6 | 618 | 1.6 | 640 | 0.8 | 339 | △15.6 |

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,603百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △142百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 27.26 | — |
| 25年3月期第2四半期 | 11.59 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 98,102 | 60,865 | 62.0 |
| 25年3月期 | 82,916 | 59,916 | 72.3 |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 60,865百万円 25年3月期 59,916百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |
| 26年3月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

第2四半期末配当は11月20日の取締役会で決議される予定です。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|-----|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 183,000 | 23.7 | 2,200 | 8.2 | 2,300 | 41.2 | 1,550 | 37.0 | 55.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年3月期2Q | 30,281,373株 | 25年3月期 | 30,281,373株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 2,101,667株 | 25年3月期 | 1,501,550株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年3月期2Q | 28,464,996株 | 25年3月期2Q | 29,279,956株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

当社は、平成25年11月14日に証券アナリスト、機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は財政状況に懸念が残るものの緩やかな景気回復が続き、債務問題が長期化していた欧州でも持ち直しの兆しが見られました。一方アジアにおいては、中国やインドの成長が鈍化するなど一部弱含みで推移しました。我が国経済は先行きに対する不透明感は拭えないものの、政府・日銀による財政・金融政策により景況感に明るさが見られました。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレット型PCなどのモバイル機器の需要拡大が、半導体や電子部品市場を引き続き牽引しました。国内IT業界におきましては、経済環境の好転を受け徐々に改善が見られるものの、未だ慎重な姿勢も強く、価格競争も激化するなど厳しい環境が続きました。

このようななか当社グループは、事業力の強化と経営基盤の整備に取り組み、売上高の増加並びに収益力の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は963億69百万円（前年同期比39.6%増）、営業利益は11億82百万円（前年同期比91.3%増）、経常利益は12億18百万円（前年同期比90.4%増）、四半期純利益は7億75百万円（前年同期比128.6%増）となりました。

②セグメント業績概況

(デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体（システムLSI、マイコン、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等）や電子部品（コネクタ、コンデンサ、回路基板等）の販売に加え、ソフト開発やASIC設計等の技術サポートを行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、モバイル機器向けや社会インフラ向けの増加、新規商材の立ち上がり、円安効果などにより、半導体及び電子部品とも売上高が前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、連結デバイス事業の売上高は902億15百万円（前年同期比41.3%増）、セグメント損益は7億14百万円（前年同期比301.8%増）となりました。

なお、受注高は977億23百万円、受注残高は402億39百万円となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、主に企業や医療機関、官公庁、自治体向けに情報通信ネットワークや基幹業務システムの販売及び保守・サポート等を行うネットワークシステム関連ビジネスと、放送局や映像制作のプロダクション向けに映像コンテンツの編集や送出、配信に使用するシステムやソフトウェアの販売等を行う映像システム関連ビジネスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、組み込みシステムやネットワークシステム、公共向けなどが堅調に推移し、売上高が前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、連結ソリューション事業の売上高は61億54百万円（前年同期比19.0%増）、セグメント損益は5億4百万円（前年同期比9.1%増）となりました。

なお、受注高は90億56百万円、受注残高は81億81百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて151億86百万円増加し、981億2百万円となりました。これは主に売上債権の増加218億30百万円、現金及び預金の増加35億9百万円、商品の減少86億54百万円等によるものです。

また、負債は、前連結会計年度末に比べて142億36百万円増加し、372億37百万円となりました。これは主に仕入債務の増加130億1百万円、短期借入金の増加16億89百万円等によるものです。

純資産は、自己株式の増加3億66百万円、為替換算調整勘定の増加3億63百万円等により9億49百万円増加し、608億65百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、仕入債務の増加やたな卸資産の減少等により収入が増加したため、前連結会計年度末に比べて35億9百万円増加し、146億73百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加、たな卸資産の減少及び未収消費税等の減少等による収入が売上債権の増加等による支出を上回り、22億13百万円の収入となりました。その結果、前第2四半期連結累計期間が35億30百万円の支出であったことから、57億43百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入及び投資有価証券の売却による収入等により1億59百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ収入が5億39百万円減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入等により10億31百万円の収入となりました。その結果、前第2四半期連結累計期間が4億50百万円の支出であったことから、14億81百万円の収入増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、下半期でモバイル機器向けなどの売上が減少するものの、上半期の業績が好調に推移したこと、円安基調に伴い想定為替換算レートを変更したことから、平成25年3月期決算短信（平成25年5月15日発表）で発表した当初予想を上回る見込みです。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想を下記の通り修正しております。なお、本予想の前提となる年間平均為替換算レートは、1米ドル＝97円を想定しております。

(通期連結業績見通し)

| | | |
|-------|------------|--------------|
| 売上高 | 183,000百万円 | (前期比 23.7%増) |
| 営業利益 | 2,200百万円 | (前期比 8.2%増) |
| 経常利益 | 2,300百万円 | (前期比 41.2%増) |
| 当期純利益 | 1,550百万円 | (前期比 37.0%増) |

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(退職給付引当金の数理計算上の差異及び過去勤務債務の費用処理年数の変更)

従来、数理計算上の差異及び過去勤務債務の費用処理年数は13年としておりましたが、従業員の平均残存勤務期間が短縮したため、第1四半期連結会計期間より費用処理年数を10年に変更しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ39百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,164 | 14,673 |
| 受取手形及び売掛金 | 38,844 | 60,674 |
| 商品 | 22,704 | 14,050 |
| 半成工事 | 0 | 51 |
| その他 | 3,712 | 2,248 |
| 貸倒引当金 | △36 | △12 |
| 流動資産合計 | 76,391 | 91,685 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,245 | 4,059 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 39 | 44 |
| その他 | 138 | 138 |
| 無形固定資産合計 | 177 | 183 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,163 | 2,230 |
| 貸倒引当金 | △61 | △56 |
| 投資その他の資産合計 | 2,102 | 2,173 |
| 固定資産合計 | 6,525 | 6,416 |
| 資産合計 | 82,916 | 98,102 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,795 | 29,796 |
| 短期借入金 | 3,357 | 5,046 |
| 未払法人税等 | 543 | 398 |
| 引当金 | 541 | 598 |
| その他 | 1,509 | 1,046 |
| 流動負債合計 | 22,746 | 36,886 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 80 | 67 |
| その他 | 173 | 284 |
| 固定負債合計 | 253 | 351 |
| 負債合計 | 23,000 | 37,237 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,811 | 14,811 |
| 資本剰余金 | 15,329 | 15,329 |
| 利益剰余金 | 32,743 | 33,231 |
| 自己株式 | △1,089 | △1,455 |
| 株主資本合計 | 61,795 | 61,916 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 244 | 375 |
| 繰延ヘッジ損益 | △344 | △12 |
| 為替換算調整勘定 | △1,778 | △1,414 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,879 | △1,051 |
| 純資産合計 | 59,916 | 60,865 |
| 負債純資産合計 | 82,916 | 98,102 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 69,008 | 96,369 |
| 売上原価 | 63,942 | 90,433 |
| 売上総利益 | 5,065 | 5,935 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,447 | 4,752 |
| 営業利益 | 618 | 1,182 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11 | 7 |
| 受取配当金 | 53 | 68 |
| その他 | 34 | 36 |
| 営業外収益合計 | 99 | 112 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7 | 12 |
| 売上割引 | 7 | 18 |
| 為替差損 | 61 | 23 |
| 電子記録債権売却損 | — | 20 |
| その他 | 0 | 2 |
| 営業外費用合計 | 77 | 76 |
| 経常利益 | 640 | 1,218 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | 299 | 1 |
| 特別利益合計 | 299 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 65 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 投資有価証券評価損 | 206 | — |
| 会員権評価損 | 0 | — |
| 和解金 | 81 | — |
| 特別損失合計 | 288 | 65 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 651 | 1,156 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 293 | 378 |
| 法人税等調整額 | 19 | 1 |
| 法人税等合計 | 312 | 380 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 339 | 775 |
| 四半期純利益 | 339 | 775 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 339 | 775 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 24 | 131 |
| 繰延ヘッジ損益 | 21 | 332 |
| 為替換算調整勘定 | △527 | 363 |
| その他の包括利益合計 | △481 | 827 |
| 四半期包括利益 | △142 | 1,603 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △142 | 1,603 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 651 | 1,156 |
| 減価償却費 | 123 | 90 |
| のれん償却額 | 6 | 6 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 9 | △15 |
| 前払年金費用の増減額(△は増加) | 34 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △0 | △29 |
| 受取利息及び受取配当金 | △64 | △75 |
| 支払利息 | 7 | 12 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △0 | 64 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △299 | △1 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 206 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △9,854 | △21,312 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,893 | 8,771 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 7,326 | 12,721 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 402 | 1,395 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 0 | △1 |
| その他 | △151 | △54 |
| 小計 | △3,495 | 2,726 |
| 利息及び配当金の受取額 | 106 | 20 |
| 利息の支払額 | △7 | △12 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △134 | △521 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △3,530 | 2,213 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △11 | △28 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 113 |
| ソフトウェアの取得による支出 | △22 | △42 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △0 | △7 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 703 | 101 |
| その他 | 29 | 22 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 698 | 159 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 2,560 | 6,850 |
| 短期借入金の返済による支出 | △2,706 | △5,151 |
| リース債務の返済による支出 | △12 | △13 |
| 自己株式の純増減額(△は増加) | △0 | △366 |
| 配当金の支払額 | △292 | △287 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △450 | 1,031 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △79 | 104 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △3,361 | 3,509 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 15,235 | 11,164 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 11,873 | 14,673 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | デバイス事業 | ソリューション事業 | 合計 |
|-----------------------|--------|-----------|--------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 63,837 | 5,171 | 69,008 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 63,837 | 5,171 | 69,008 |
| セグメント利益 | 177 | 462 | 640 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | デバイス事業 | ソリューション事業 | 合計 |
|-----------------------|--------|-----------|--------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 90,215 | 6,154 | 96,369 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 90,215 | 6,154 | 96,369 |
| セグメント利益 | 714 | 504 | 1,218 |

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより的確に把握することを目的に、各事業セグメントに対する費用の配賦方法の変更を行っております。

この変更に伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント利益については、変更後の算定方法により作成しております。